

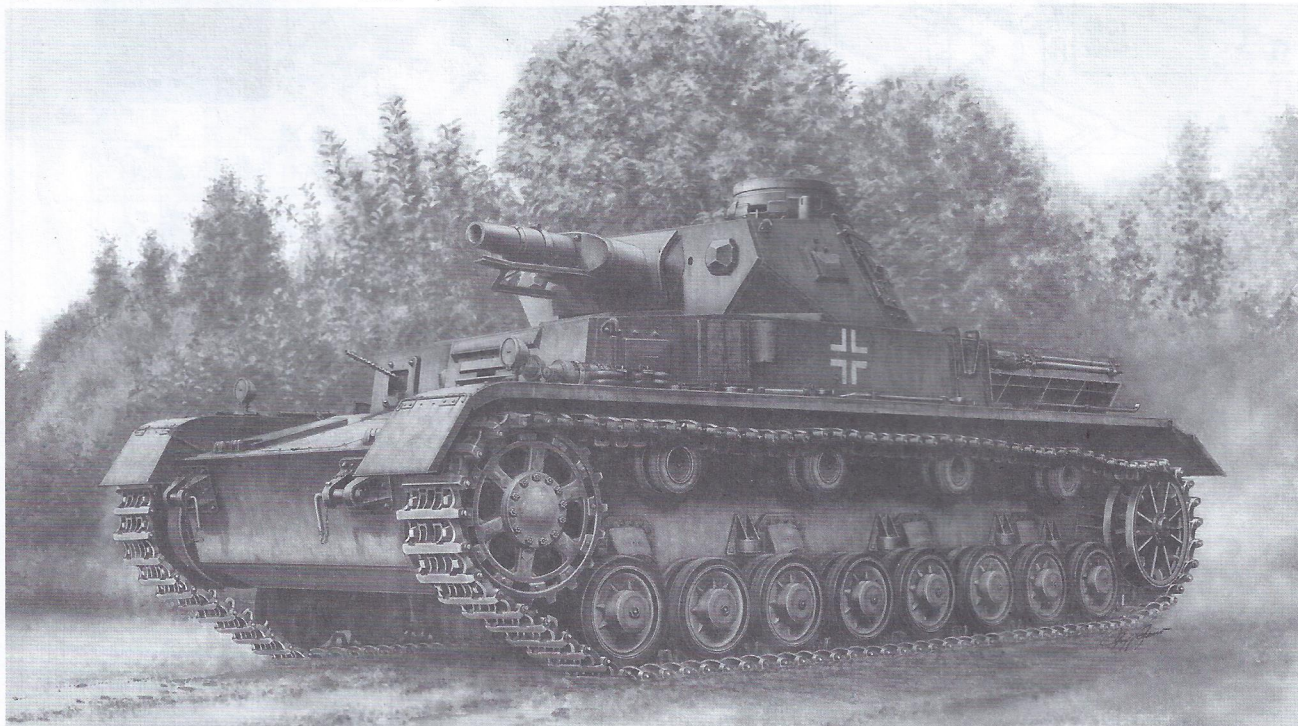
German Panzerkampfwagen IV Ausf D

ドイツ IV号戦車D型

7.5cm Sd.kfz.161 4.u.5/B.W

Tristar

35015



Designed by Yoshikatsu Tomioka
Project Supervised by C.K.Pat

Scale 1:35

The "Panzerkampfwagen IV" was developed as a 20 ton class medium support tank by Krupp-Grusion and over 12,000 units of "Pz.Kpfw.IV" were produced from October 1937 to the end of the war as a prime tank. As for D-type, 229 units were produced from October 1939 to May 1941. In 1938, Krupp-Grusion received the contract to assembly 200 in the (4./B.W.) Fgst.Nr. 80501 - 80700 and 48 in the (5./B.W.) Fgst.Nr. 80701 - 80748 (company vehicles). At the end, only 229 units were completed for Pz.Kpfw.IV type D and the remained 19 units were completed as bridge-laying tank, self-propelled guns and Munitionsschlepper for Karl. In the D type and E type, the superstructure front plate in front of the radio operator was stepped to the rear and the driver could look and shoot to the right through a pistol port mounted in the short slanted sidewall. The majority of the 229 Ausf.D with 75mm KeK L/24 gun and its armoring was achieved without losing mobility. It played widely in the whole line such as the France, the Balkan Peninsula, the Africa and the Russian.

第一次大戦に敗れたドイツは、連合国から過酷な賠償金を要求されると共に軍備に厳しい制限を課せられ新兵器の開発も一切禁じられてしまった。しかし1920年代に入ると連合軍の目を逃れて装甲車輛の開発がはじまり、1926年には戦車の開発まで行なうようになり、様々な開発を経てナチ党が政権を奪取した1935年2月5日に、ラインメタル社に対して時を同じくして開発が進められていたZW（小隊長）車と行動を共にし、ZW車の進撃に先立って対戦車砲などの障害を排除することを目的としたBW（随伴車輛）の開発が求められることになった。そして2日後の2月27日にはクルップ社に対して

もBW車の開発要求が出され、試作車による試験の結果クルップ社の試作車が勝者となり1936年12月9日に1/BWの呼称で35輦が発注された。この車輛こそIV号戦車A型として制式化され、以後様々な改良を受けながら、発展型が敗戦まで生産されるドイツ軍の盛衰と共に歩むことになる戦車であった。

A型に続いて一部改良を施したB型が42輦、C型が136輦が生産され、第二次大戦の勃発となったポーランド戦を初陣として戦闘に参加した。そして1939年10月から生産に入ったD型は、装甲強化が図られ車体と操縦室の前面に表面硬化装甲板が初めて使用されて、1940年10月までに232輦が完成した。このD型においてIV号戦車の基本型はほぼ確立されることになり、以後の生産型は装甲強化や主砲の長砲身化、細部の設計変更が見られるものの基本型は変わらず、その意味では初の本格的な生産型といえる。真の意味での電撃戦となったフランス戦を皮切りに、灼熱の北アフリカ、土埃と酷暑の東部戦線と各地を転戦し、1942年末まで第一線に立ってドイツ軍の輝かしい勝利に貢献した立役者でもあった。

IV号戦車D型の車体レイアウトは、他のドイツ戦車と共通して前部に変速機と操向装置、操縦室を配し、その後方には砲塔を含む戦闘区画、車体後部はエンジンやラジエーターを収めた機関室という配置が採られた。操縦室前面は左側に操縦席を設け、その右側後方に一段下がった形で無線手兼機銃手席が配され、24口径の7.5cm砲を備える砲塔は、ドイツ戦車としては初めてバスケット方式を採用し、加えて砲塔旋回のために専用のエンジンを機関室内に搭載していた。今でこそ当たり前のものだが、当時としては革新的な装備であった。また最後期生産車80~100輦前後は、車体と操縦室の前面、および上部構造側面に増加装甲板を装着して完成している。

生産後に砲塔後部への雑具箱装着や、主砲を43口径7.5cmに換装することで火力強化（後に48口径7.5cm砲も用いられた）を図り、さらには車体と砲塔にシュルツェンと呼ばれる装甲板が間隔をおいて装着し対戦車砲への対処とされるなど、多くの改良で旧式化したとはいえ1942年末まで第一線での使用が続けられた。



組み立てる前に必ずお読みください

Please Read before Assemble.

Keep out of reach of Small Children.

Children must not allowed to suck any parts or pull vinyl bag over the head.

When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.

Read and follow the instructions supplied with paint and/or cement. Use plastic cement and paints only.

このキットは組み立てモデルです。

キットには尖った部品が含まれており小さなお子様が飲み込むと大変危険ですので注意してください。

保管場所は小さなお子様の手の届かない所に保管してください。

ビニール袋をかぶったり、顔を覆ったりしなように注意してください。窒息する恐れがあります。

ナイフやニッパー等工作に必要な工具の取り扱いには十分注意してください。

塗料や接着剤などの取扱いは、それぞれの注意書きや取り扱い指示に従ってご使用ください。



TRISTAR MODEL (INTERNATIONAL) LTD.

1/F, NO.33 YIN CHONG STREET, LEGEND COURT,
MONGKOK, KOWLOON, HONG KONG
FAX: (852)-2435-4586
E-mail: tristarmodel@netvigator.com

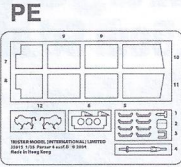
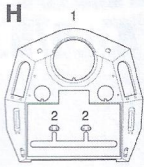
Japan Agent
TRISTAR JAPAN Co.,Ltd.

Kanda Jimbocyo-1, Chiyoda-ku Tokyo, Japan 101-0051
PHONE: 03-3233-0045 FAX: 03-3233-0045
E-Mail: tristar-japan@bi.wakwak.com
HP URL: http://park15.wakwak.com/~tristar-japan

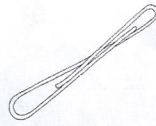
Hong Kong Agent
TRISTAR MODEL COMPANY

G/ F-1/F, NO.33 YIN CHONG STREET, LEGEND COURT,
MONGKOK, KOWLOON, HONG KONG
FAX: (852)-2388-0387 FAX: (852)-2388-0664
E-mail: p2388038@netvigator.com

PARTS LIST



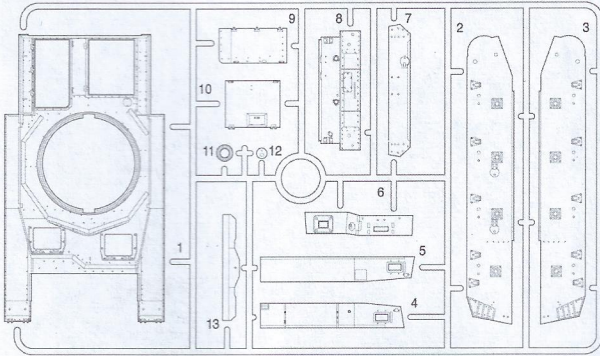
Copper Cable



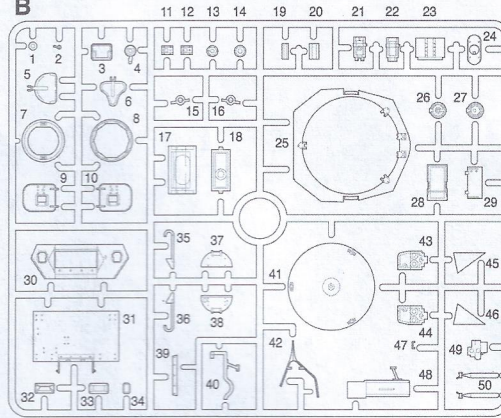
Decal



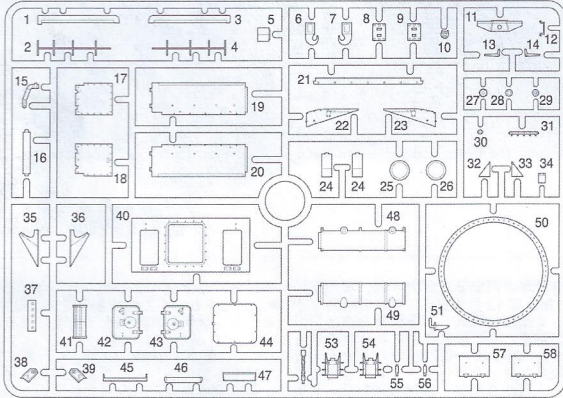
A



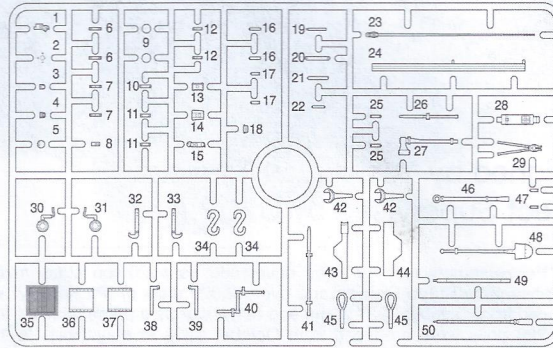
B



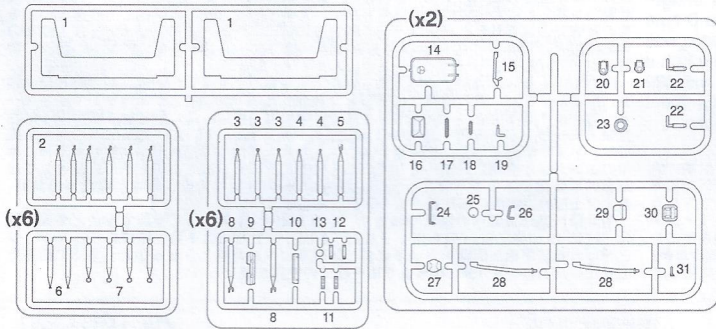
C



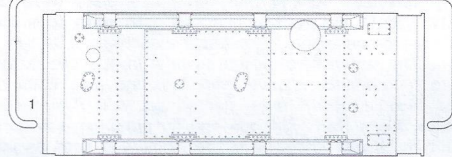
D



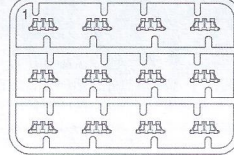
E



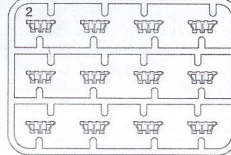
F



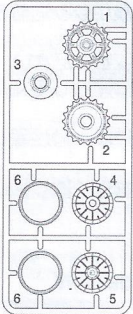
G(x9)



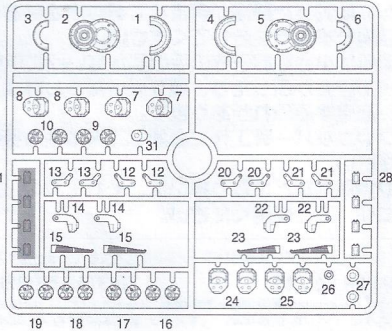
G(x9)



S2(x2)



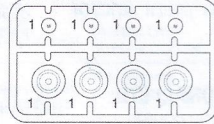
S1(x2)



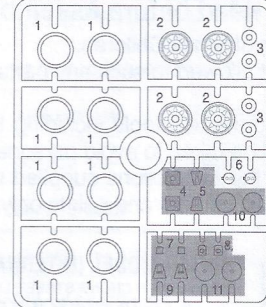
wc(x5)



wb(x5)



W(x5)



Parts not for use
使用しません

×2 Make 2 pcs
2個作ります

Do Not Cement
接着しません

Remove
切り取ります

Paint Reference & Color Number
塗装参考例 カラーナンバー

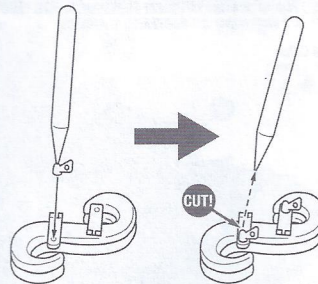
The other side is assembled.
反対側も組み立てる

Bend
曲げる

Optional
どちらか選んで取り付ける

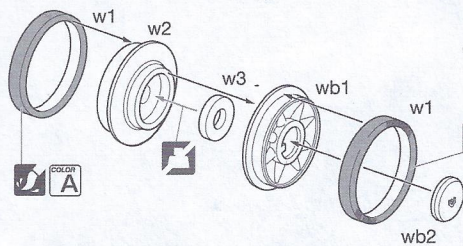
Be Careful
注意・気をつけて

Installation of Small Parts (B50, E2, E3, E4, E5, E6, E7, E8)

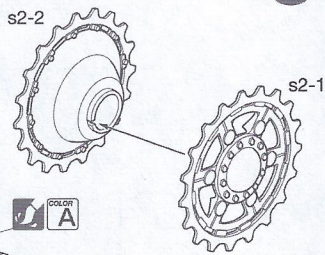


1 Wheels & Suspensions ホイールとサスペンションの組立

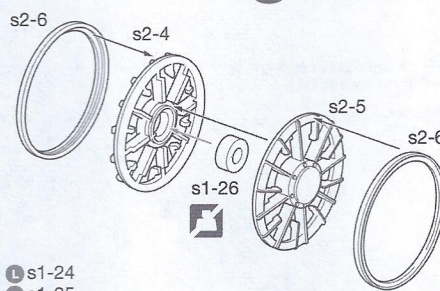
Road Wheel Assembly ×16



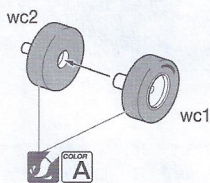
Sprocket Wheel Assembly ×2



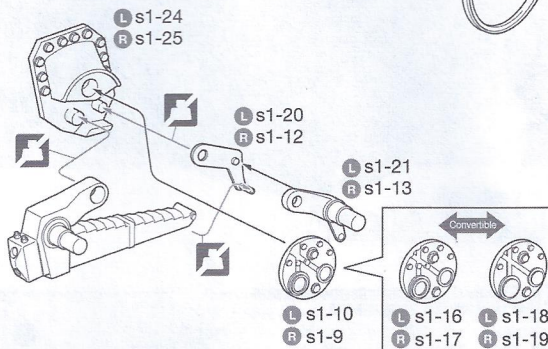
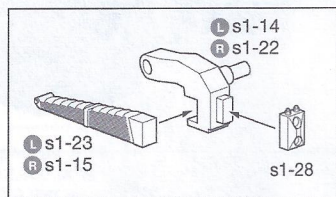
Idler Wheel Assembly ×2



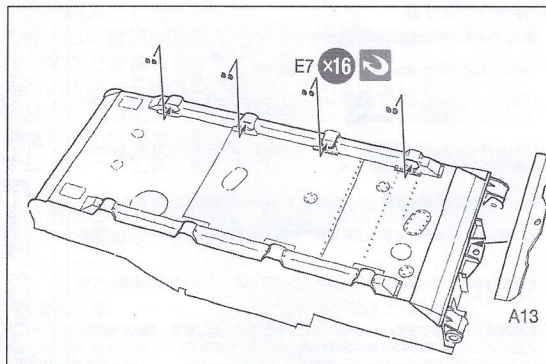
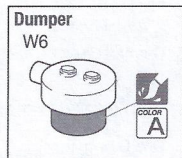
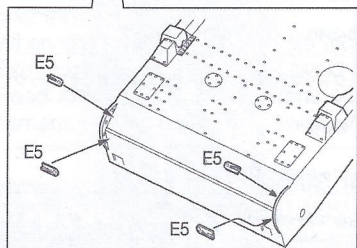
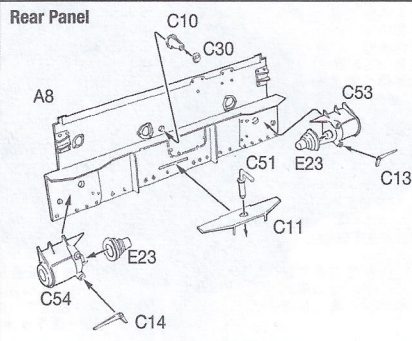
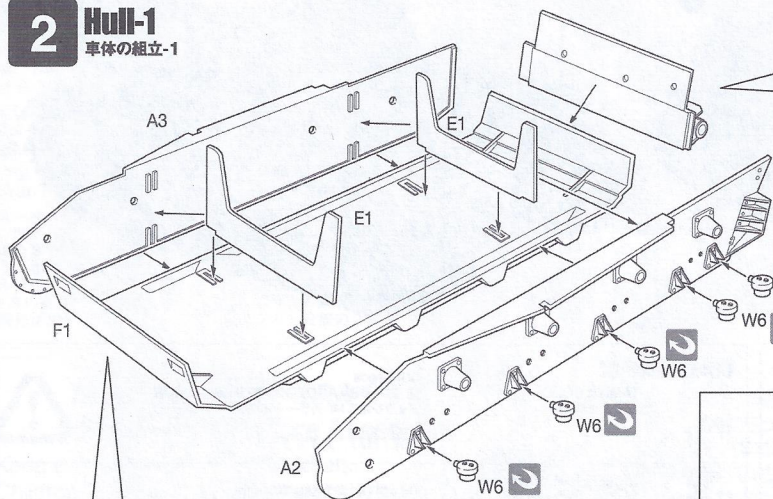
Support Wheel Assembly ×8



Suspension Assembly ×8

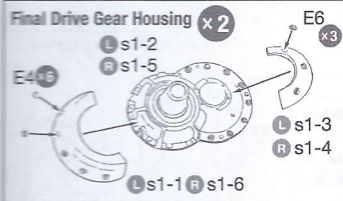
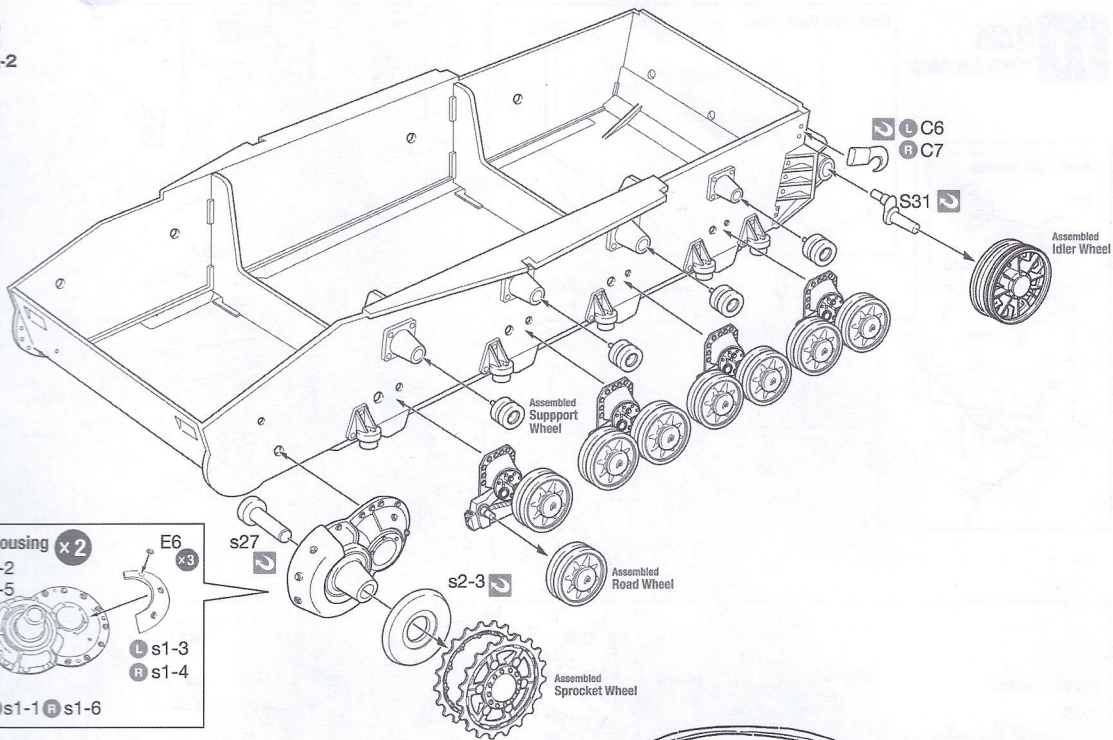


2 Hull-1 車体の組立-1

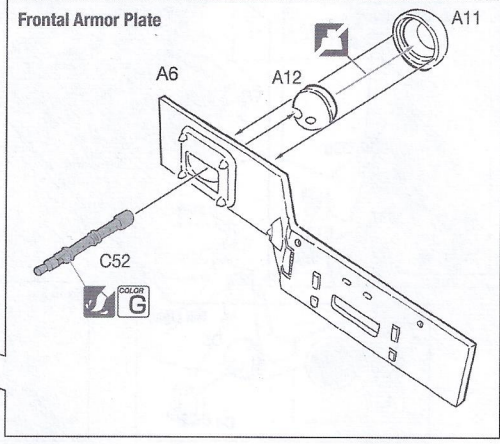
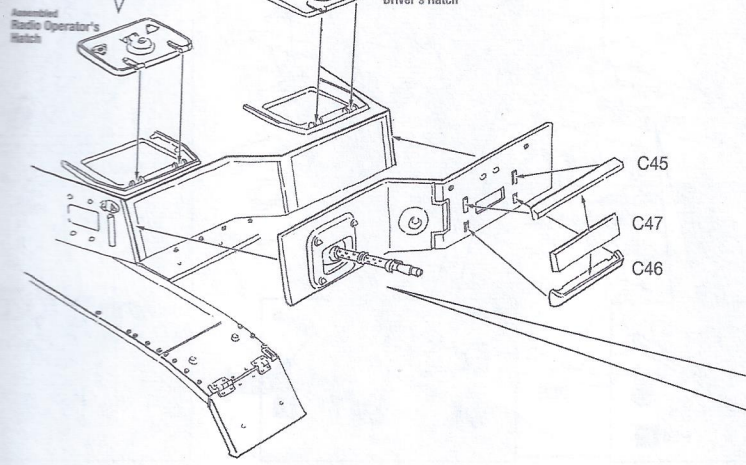
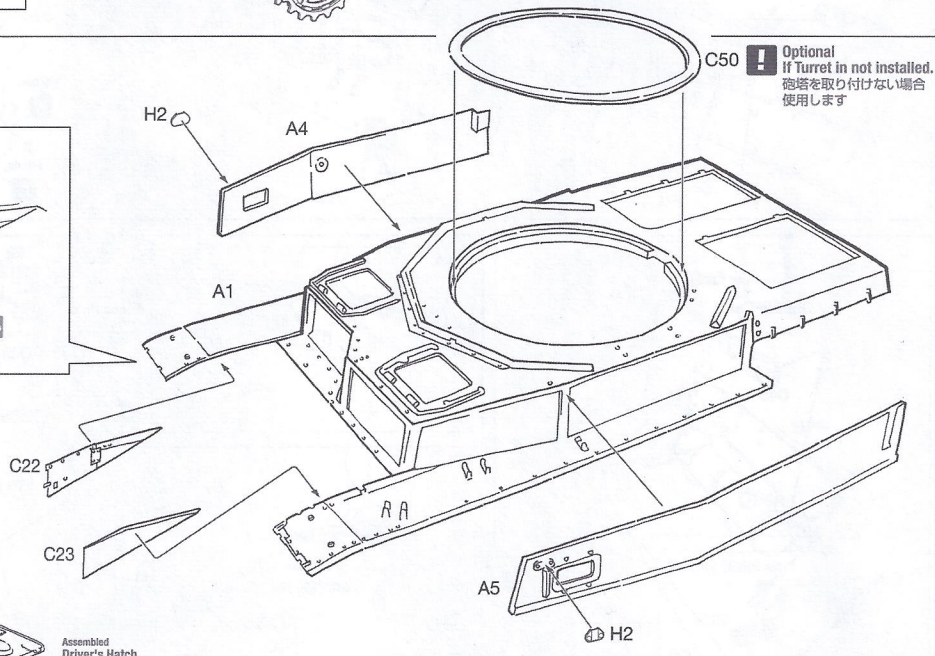
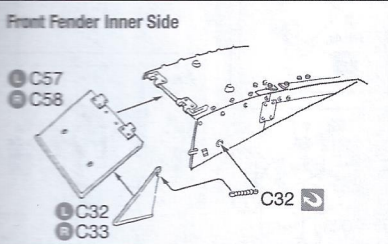


3

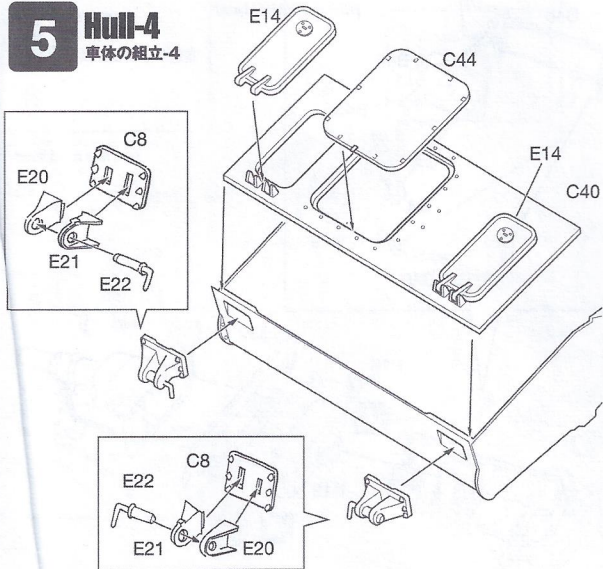
Hull-2 車体の組立-2



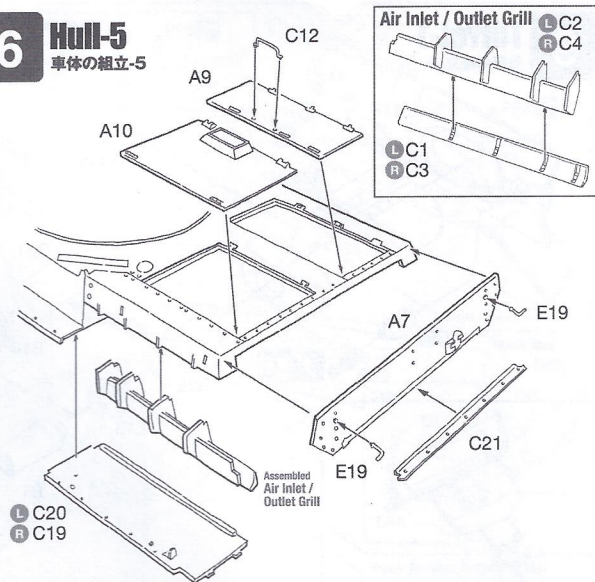
4 Hull-3 車体の組立-3



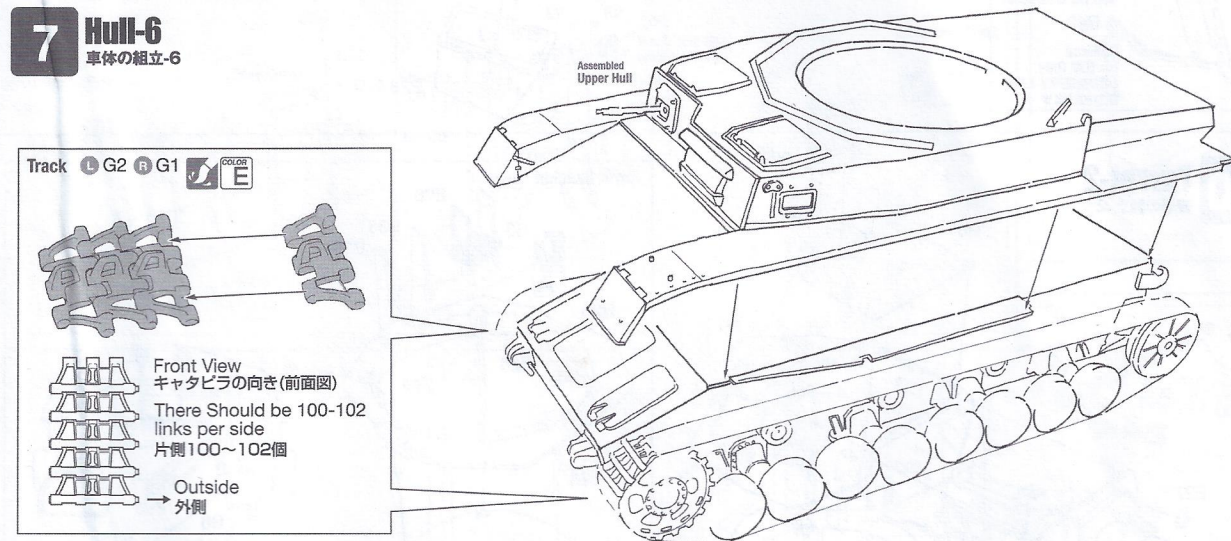
5 Hull-4 車体の組立-4



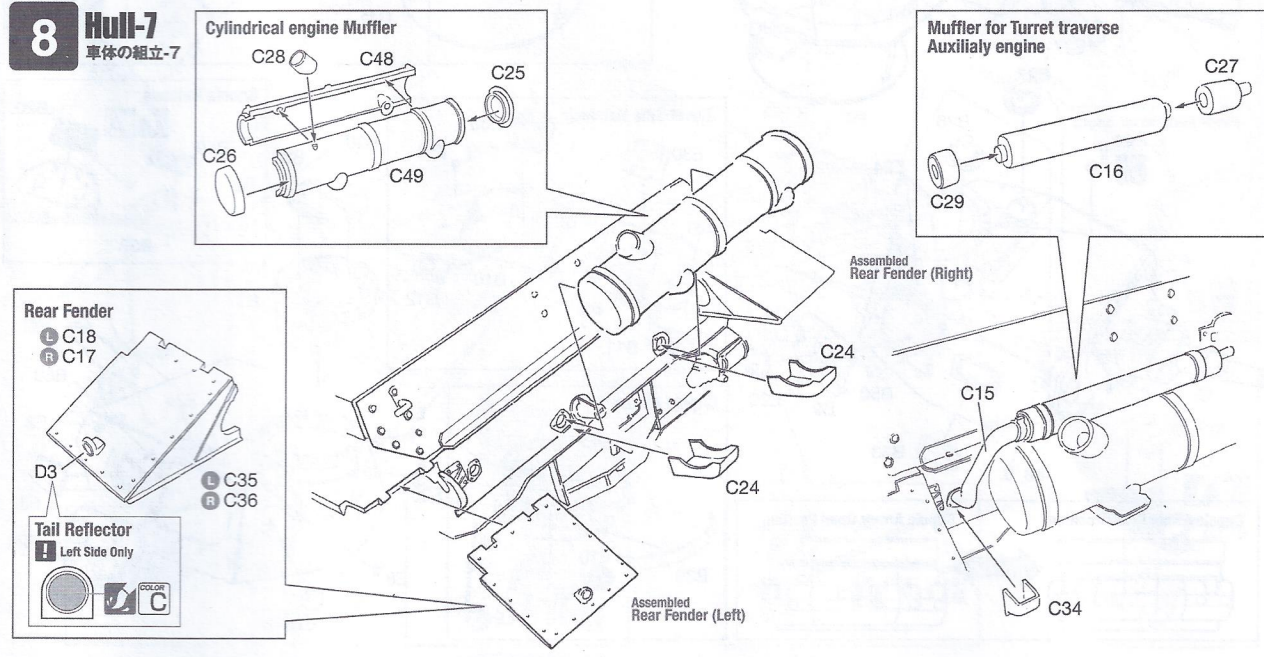
6 Hull-5 車体の組立-5



7 Hull-6 車体の組立-6

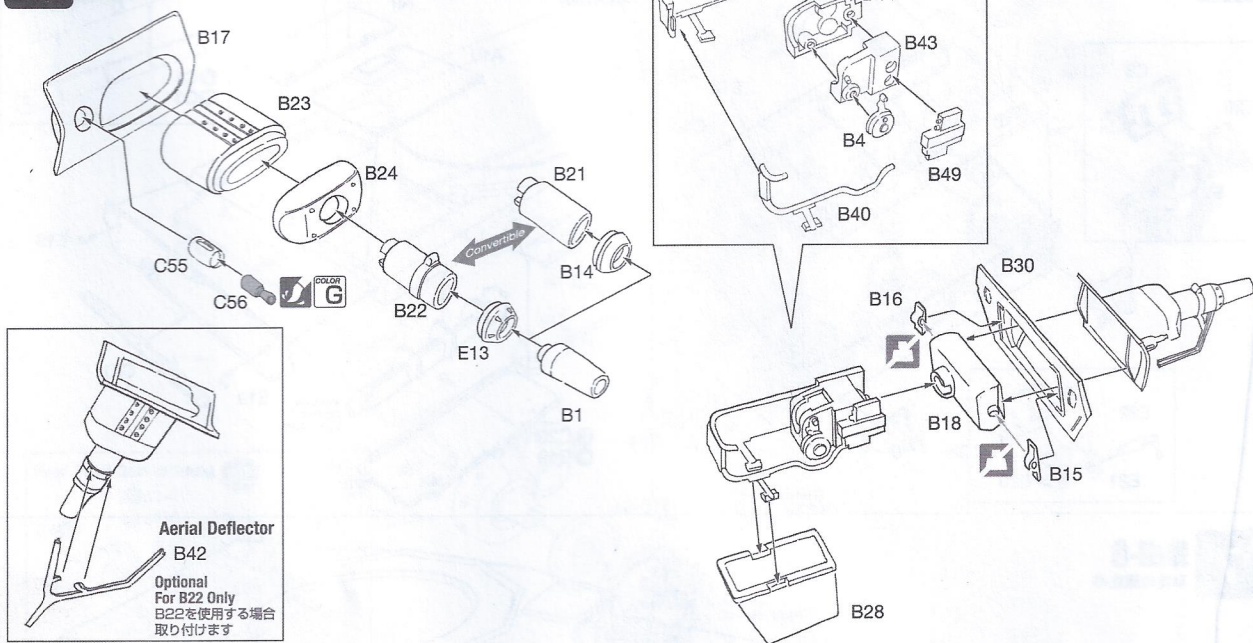


8 Hull-7 車体の組立-7



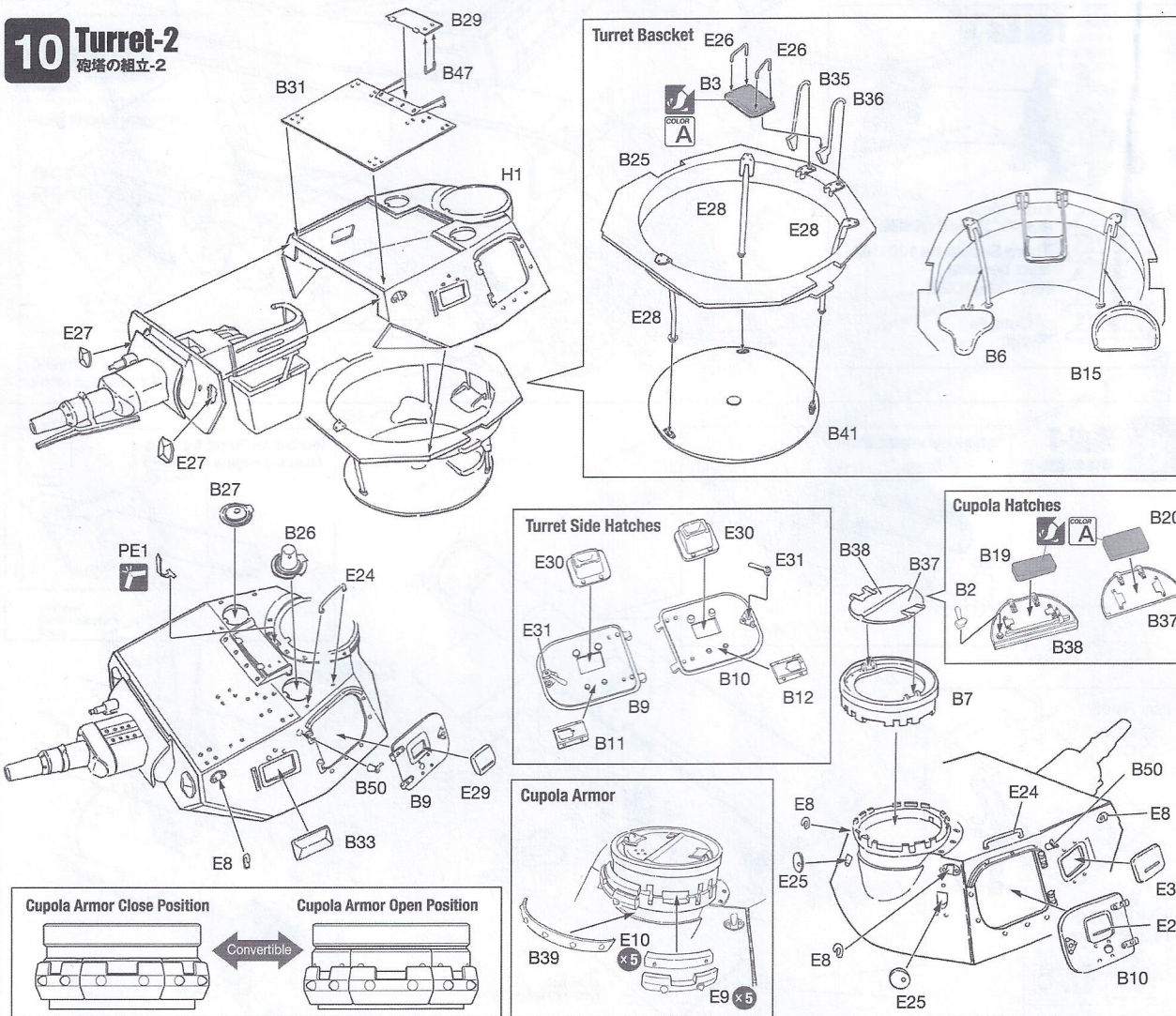
9 Turret-1

砲塔の組立-1



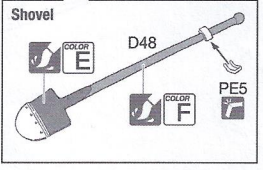
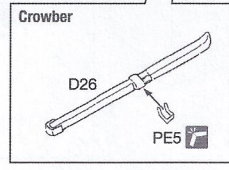
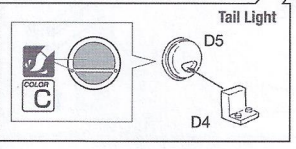
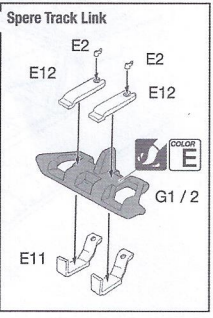
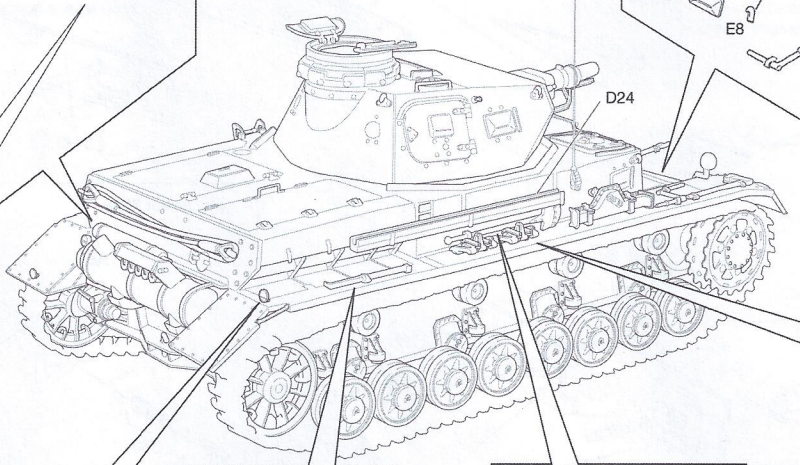
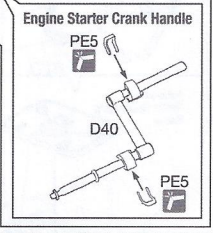
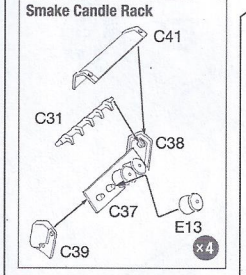
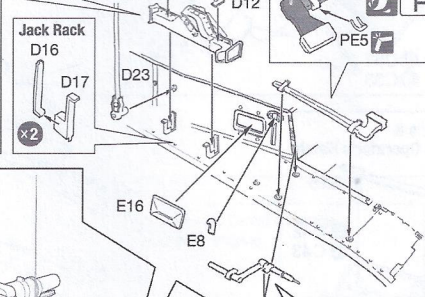
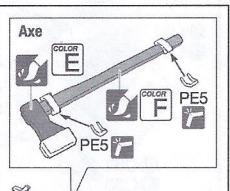
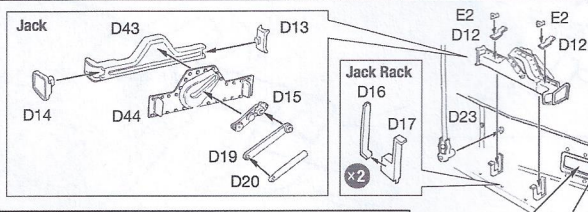
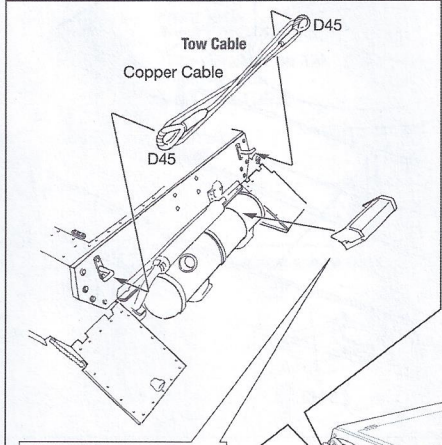
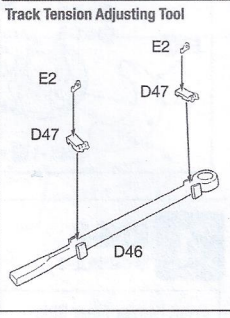
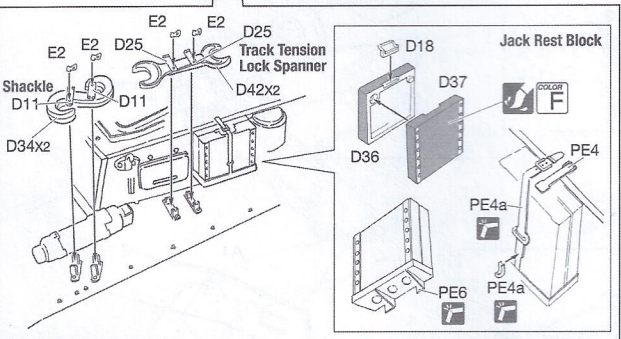
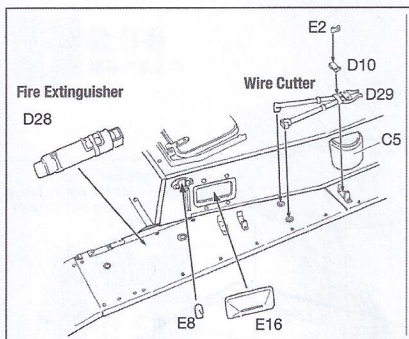
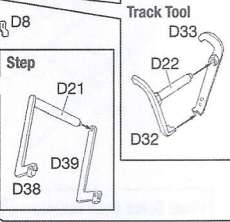
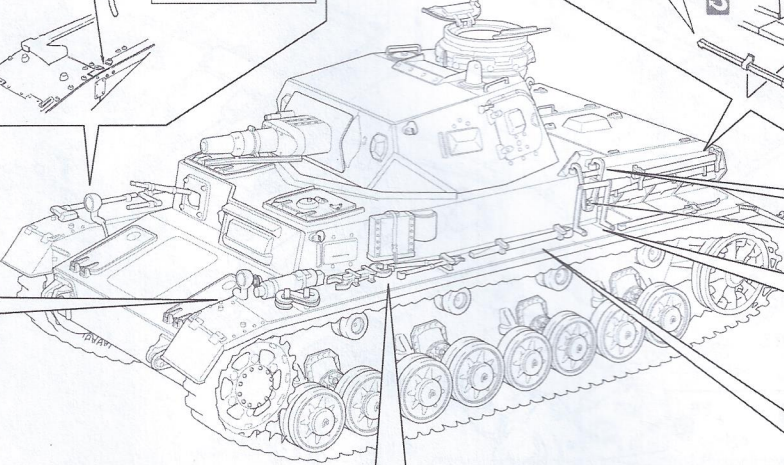
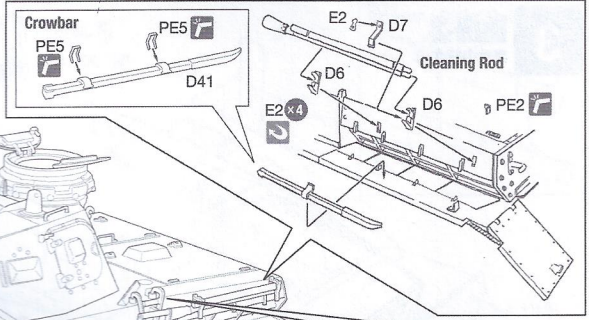
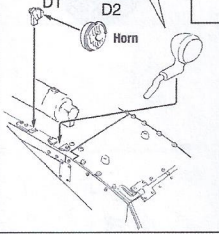
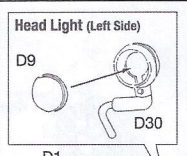
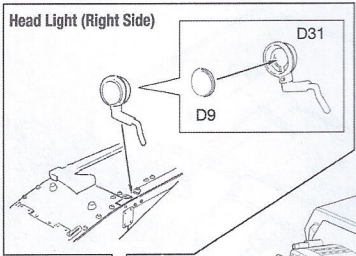
10 Turret-2

砲塔の組立-2



11 OVM

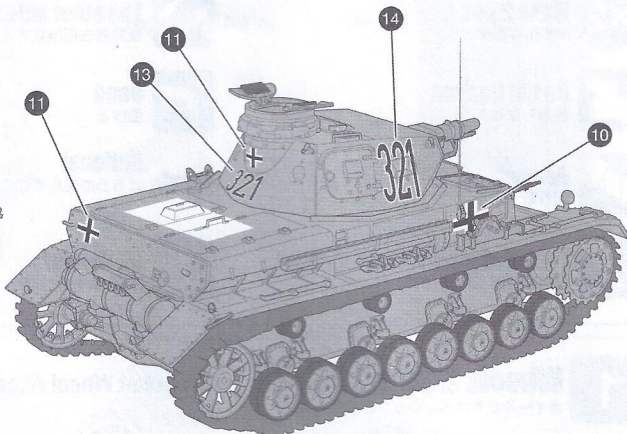
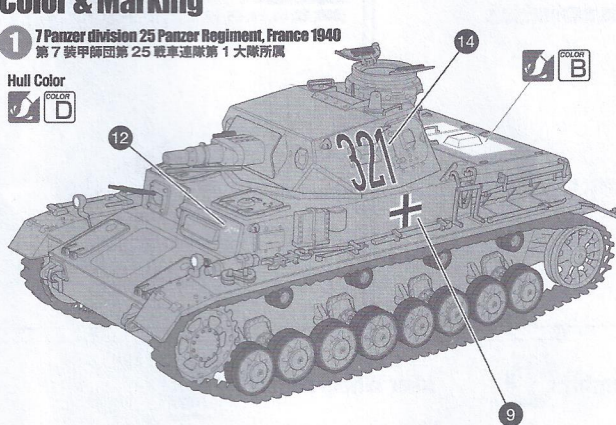
車外装備品の組立



Color & Marking

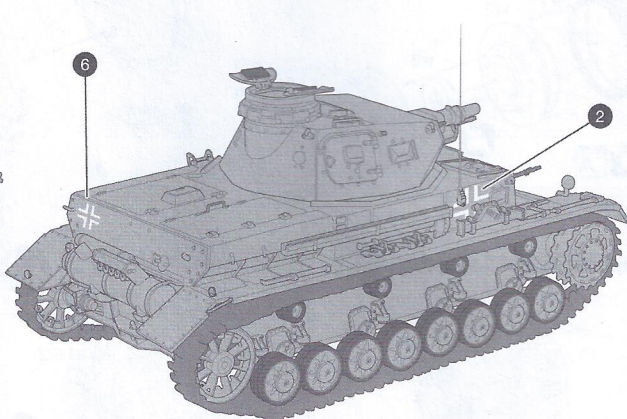
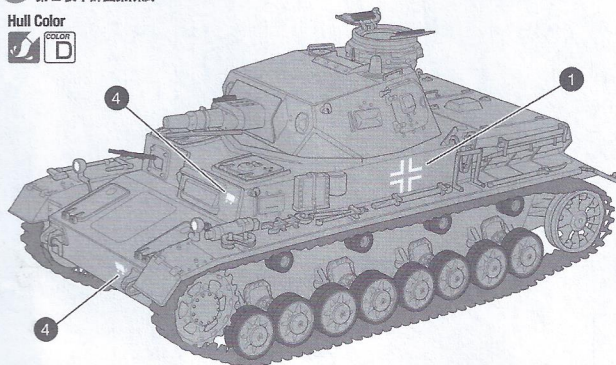
1 7 Panzer division 25 Panzer Regiment, France 1940 第7装甲師団第25戦車連隊第1大隊所属

Hull Color



2 2 Panzer division, Semois 1940 第2装甲師団第1戦車連隊所属

Hull Color

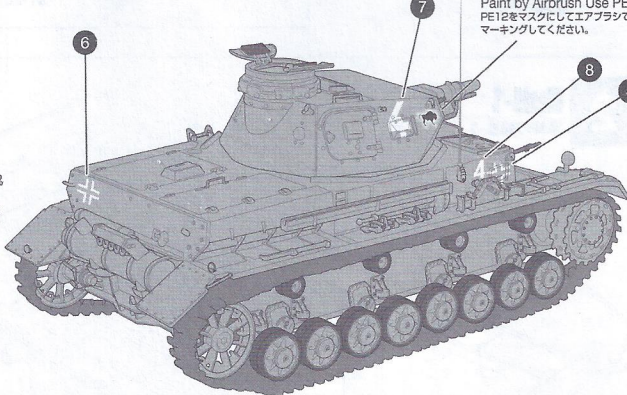
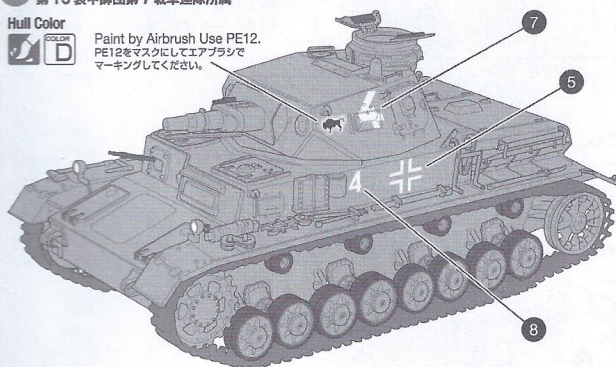


3 10 Panzer division, Panzer Regiment 7, France 第10装甲師団第7戦車連隊所属

Hull Color



Paint by Airbrush Use PE12.
PE12をマスクにしてエアブラシで
マーキングしてください。



Paint by Airbrush Use PE12.
PE12をマスクにしてエアブラシで
マーキングしてください。

Applying Decals

デカールの貼り方

- 1 Pick the decal and cut off decal from sheet.
 - 2 Dip the decal in water until it is fully soaked
 - 3 Hold the backing sheet edge and slide decal onto the model. Move decal into position by wetting decal with finger.
 - 4 Press decal gently down with a cotton buds or cloth until excess water and air bubbles are gone.
- 1 貼り付ける場所の埃をふさとり、貼りたいデカールを台紙ごと切り取ります。
 - 2 切り取ったらデカールを水の上に浮かせ台紙に水が浸透したら水から上げてください。
 - 3 台紙を持ち貼りたい場所でデカールをスライドさせて正しい位置に移動して貼り付けます。
 - 4 綿棒か柔らかい布でデカール内側の気泡と水分を押し出します。完全に乾燥した後にノリが残っていたら濡らせた綿棒か布で拭き取ります。

Color Number

TAMIYA COLOR
タミヤカラー

GSI Creos
Mr.COLOR / AQUEOUS HOBBY COLOR
GSI クレオス Mr.カラー / 水性ホビーカラー



137 / H77 タイヤブラック



XF-2 Flat White
フラットホワイト

62 / H11 つや消しホワイト



XF-7 Flat Red
フラットレッド

3+30 / H8+H40 レッド+フラットベース



XF-63 German Grey
ジャーマングレイ

40 / H32 ジャーマングレイ または 137 / H77 タイヤブラック



XF-56 Metallic Grey
メタリックグレイ

28 / H18 黒鉄色



XF-64 Red Brown
レッドブラウン

43 / H37 ウッドブラウン



X-10 Gun Metal
ガンメタル

214 メタルカラー ダークアイアン